

戦間期のイスタンブルにおける日本の経済活動(6)

——コンスタンチノーブル日本商品館(イスタンブル日本商品館)に関する研究——

三 沢 伸 生

9. 外務省の活動

イスタンブルにおける日本の経済活動の中心は、本稿が扱うように、商工省が大阪商工会議所内の日土貿易協会に経営を委託する形で設けたコンスタンチノーブル日本商品館（後にイスタンブル日本商品館と改称）であった。

しかし前項までに記したように、外務省も商工省と同じく、イスタンブルにおいて日本の経済活動、具体的には新たに外交関係を樹立した新生トルコ共和国と日本との貿易を支援すべく積極的な活動を展開してきた。

前述の第6項において述べたように、1925年11月に特命全権大使として着任した小幡西吉大使は、1926年4月末から5月初頭にかけて、外務省本省および関係する在外公館の担当者をイスタンブルに招聘して「近東貿易会議」を開催し、8月にトルコ人に対して日本商品展示会を開催して成功を収めたことが、両国間の通商条約の締結と、日本商品館開設に結実したのであった〔三沢2009：45〕⁽¹⁾。また第8項において詳細に見てきたように小幡大使が短期間のトルコ大使職を全うし1928年10月に日本に帰国した後を受けて、書記官から後任の臨時代理大使に就任した芦田均代理大使が自ら周旋奔走して、ガラタ橋畔に貸借物件を見つけて日本商品館の開設の準備を進めてきた〔三沢2011：191－192〕。

小幡・芦田のこうした行動の詳細については、外務省外交史料館所蔵の文書史料、および両者の自伝・評伝が史料として最も重要である⁽²⁾。

こうした特定個人にかかわる諸史料の一方で、外務省が公文書として記録・保管してきた史料と並行して、外務省が刊行していた逐次刊行物としての領事報告も文書史料を保管する史料として注目しなくてはならない。

明治時代以降、日本の在外公館が本国に送付してきた領事報告は、日本の経済活動の実態をうかがい知るための第一級史料である（角山栄らによる綿密なる調査・復刻事業によって、日本が通商国家たるために外務省の在外公館がいかに情報戦略を展開してきたかが明らかにされてきた〔角山1986, 1988〕）。

しかしながら管見の限り、中東・イスラーム世界における外務省の領事報告に関する研究は皆無である。前述のように、中東・イスラーム世界には本稿が取り扱うコンスタンチノーブル日本商品館（イスタンブル日本商品館）のほか、同時期にカイロ日本商品館の2つの日本商品館が存在し、これと呼応して駐イスタンブル日本公使館（のち大使館）、駐カイロ日本大使館、駐ポートサイド日本領事館、駐アレキサンドリア日本領事館が通商支援の様々な活動を展開していた。現今ではすっかり忘却されているが、戦間期の日本は地中海を見据えて中東・イスラーム世界における経済活動に積極的であった。

そこで本項では、イスタンブルにおける日本商品館の活動にかかわる補完的な調査として、1921年に特命全権公使として内田定槌がイスタンブルに派遣されてからの戦間期について、時代区分を設定し、外務省通商局が編纂した逐次

刊行物である①『日刊海外商報』(1925-28年)、②『週刊海外経済事情』(1928-34年)、③『海外経済事情』(1935-43年)に関して、トルコに関わる記事を、本項巻末に付した総索引のようにデータベース化したうえで整理・分析するものである⁽³⁾。

3誌を通観して、第一に気づくのは、小幡のイスタンブル赴任前から、一等書記官の笠間杲雄や、代理大使の花岡止郎らがトルコの通商関係情報を収集し、本省に頻繁に打電していることである。すなわちイスタンブルにおける日本の経済活動創始とは決して小幡個人の志向の産物ではなく、より巨視的な外務省の方針であったことが分かる。笠原は後にカイロ日本商品館館長を務め、また日本帰国後は「回教政策」の立案者ともなり、戦間期の中東・イスラーム世界における経済活動を担う中心人物の一人であるが、その経済分析のキャリアはまずイスタンブルで培われたものであった⁽⁴⁾。またロシア語に精通し、ロシア情勢分析を専門とする花岡までもがトルコの通商関係情報収集活動に従事していたことは、在外公館の職責として経済活動が重視されていたことが理解される。

第二に商務書記官の存在である⁽⁵⁾。小幡および芦田は精力的に通商情報の収集と分析にあたっているが、小幡の時代に駐イスタンブル日本大使館に商務書記官が設けられた。『日刊海外商報』上には若松・松山・川合という3名の商務書記官の記事を見出すことが出来る。この3名は各々1本しか署名記事を書いていないが、1928年『週刊海外経済事情』に誌名変更されてから、商務書記官の本重志の記事が急速にイスタンブルからの報告の中心を占め出している。商務書記官と日本商品館との関係は残念ながら今のところ明確ではないが、商務省と外務省とが連携してイスタンブルにおける経済活動を支援していた事実を考えれば、本重志商務書記官は極めて重要な存在である。

第三に、通商情報の収集・分析対象がトルコだけに限定されることなく、ブルガリア・ギリ

シャ・ユーゴスラビアを含めた東ヨーロッパ諸国、シリア・イラク・パレスチナなどの中東地域が含まれていることが分かる。この点は先にふれた日土貿易協会・日本商品館の方針とも符合する。

第四に、世界恐慌に端を発して、1930年代にトルコが自国経済保護のためにタカス制によるバーター貿易を推進して、実質的に日本との貿易に消極的になると、領事報告はその詳細を知らせることに腐心し、具体的な商品情報については減少してくる。そして1937年に日本商品館が閉館に追い込まれ、イスタンブルから撤退すると、『海外経済事情』にトルコ関係記事が掲載されることは稀になり、刊行物廃止よりもはやく1940年9月を最後に情報は掲載されなくなった。

駐イスタンブル(のちアンカラへ移転)日本公使館・大使館の館員たちが果たしてきた役割については、勤務経験者の断片的な記述[小高1948]、いくつかの専攻研究[ARAI 1994]によりその一端をうかがい知ることが可能である。最近では戸部が情報活動に着目して研究を進めている[戸部2009, 2010]が、情報は政治や軍事のみならず、本項で見てきたように貿易にかかわる通商関係情報も大きな地位を占めていたのである。

(この項続く)

<注>

- (1) 近東貿易会議については、[池井1999]が唯一の詳細な専論であるが、近東会議前後の日本の経済活動に言及がほとんどされていない。
- (2) 例えば、小幡・芦田の日本商品館設立にかかわる外交史料館所蔵文書については、本稿第7項[三沢2010]参照のこと。小幡の評伝は[小幡西吉傳記刊行會1957]が最も詳細である。芦田の日記の校訂出版である[芦田均2012]には駐イスタンブル大使館勤務時代の日記が含まれ貴重であるが、残念ながらフランス語原文からの日本語訳に際して、トルコ語の現地地名や固

有名詞などに関して誤謬が散見される。

- (3) 『日刊海外商報』の継続前誌たる『通商公報』の1921年から1924年までにトルコ関係記事または駐イスタンブル日本公使館（のち大使館）勤務者による記名記事を見出すことはできなかった。
- (4) 日本とトルコとの外交関係において笠間の果たした役割は看過・過小評価されがちであるが、[笠間1926]のように、影響力は大きい。
- (5) 戦間期の在外公館における商務書記官については[本宮1990]を参照のこと。駐イスタンブル（のちアンカラ）日本大使館における商務書記官の人事については現在調査中である。

<参考文献>

【史料】

- 芦田均 2012『芦田均日記1905～1945』（全5巻）（福永文夫・下河辺元春：編）柏書房。
- 小幡西吉傳記刊行會（編）1957『小幡西吉』小幡西吉傳記刊行會。
- 笠間杲雄 1926『日土關係ノ現在及將來ニ就テ：大正十五年四月二十三日於衆議院議長官舎』（『衆議院公報』附録）衆議院。
- 小林高四郎 1948『イスタンブールの夜：外交餘憤録』一洋社。
- 外務省通商局（編）1925-1928『日刊海外商報』帝國地方行政學會，1号-1136号。
（→復刻版：不二出版，2005-2006年。）
- 外務省通商局（編）1928-1934『週刊海外經濟事情』中屋印刷所，1号-昭和9年54号。
- 外務省通商局（編）1935-1943『海外經濟事情』三省堂，昭和10年1号～昭和18年10号。

【単行本・論文】

- ARAI, Masami 1994, "Lozan Konferans karşısında Japonya'nın Tutumu", in *70. Yılda Lozan Barış Antlaşması Uluslararası Semineri*, Ankara: İnönü Vakfı, pp.127-134.
- 池井優 1999「一九二六年近東貿易会議：日本・トルコ関係史の一断面」『近代日本とトルコ世界』

- （池井優・坂本勉：編）頸草書房，131-153頁。
- 関静雄 2009「初代トルコ大使小幡西吉とトルコ：1925～28年／"İlk Türkiye Büyükelçisi OBATA ve Türkiye 1925-1928 Yılları"」『日本人研究者の目から見たトルコシンポジウム（2009年9月25日）』（A.メテ・トゥンジュク：編）Ankara: Çanakkale Onsekiz Mart Üniversitesi Yayınları, 13-23/17-28.
- 高嶋雅明 2005『『日刊海外商報』解説』『日刊海外商報』（復刻版）第1巻，不二出版，3-11頁。
- 戸部良一 2009「第二次世界大戦下の在トルコ日本大使館／"İkinci Dünya Savaşı Sırasında Türkiye'deki Japon Büyükelçiliği"」『日本人研究者の目から見たトルコシンポジウム（2009年9月25日）』（A.メテ・トゥンジュク：編）Ankara: Çanakkale Onsekiz Mart Üniversitesi Yayınları, 32-41/37-50.
- 2010『外務省革新派：世界新秩序の幻影』中央公論新社。
- 角山栄（編著）1986『日本領事報告の研究』同文館（京都大學人文科學研究所研究報告）
- 1988『「通商国家」日本の情報戦略：領事報告をよむ』日本放送出版協会。
- 三沢伸生 2009「戦間期のイスタンブルにおける日本の経済活動（3）」『アジア文化研究所研究年報』（東洋大学）43号，101-120頁。
- 2010「戦間期のイスタンブルにおける日本の経済活動（4）」『アジア文化研究所研究年報』45号，341-356頁。
- 2011「戦間期のイスタンブルにおける日本の経済活動（5）」『アジア文化研究所研究年報』45号，181-192頁。
- 本宮一男 1990「第一次大戦前後における商務官制度の展開」『外交史料館報』3，13-36頁。

※本稿は，日本学術振興会科学研究費・基盤研究（C）「昭和前期における日本人とタタール系トルコ人との交流史」（平成23～25年度，研究代表者：三沢伸生）の研究成果の一部である。

表：駐トルコ特命全権公使および特命全権大使（戦前・戦中期）

発令	入国	着任	帰国	氏名（職責）
	1921/04/18	1921/04/18?		内田定槌（特命全権公使）
1923/01/31		1923/01/31	1923/07/15	内田定槌（特命全権大使）
		1923/07/15		笠間杲雄（代理）一等書記官 ※代理は高級委員代理のことか？
		1925/01/29		花岡止郎（代理）参事官 ※代理は高級委員代理のことか？
		1925/03/23		花岡止郎（臨時代理大使）
1925/06/12		1925/11/17	1928/10/11	小幡西吉（特命全権大使）
		1928/10/11		芦田均（臨時代理大使）
		1929/11/24		二瓶兵二（臨時代理大使）
1930/01/16		1930/04/14		吉田伊三郎（特命全権大使）
		1932/01/11		村上義温（臨時代理大使）
		1932/12/31		吉田伊三郎（特命全権大使）※死去
		1933/04/23		村上義温（臨時代理大使）
1933/05/26		1933/09/22	1933/	武者小路公共（特命全権大使）
		1934/12/26		黒田二郎（臨時代理大使）
1934/12/11		1935/03/02	1935/	徳川家正（特命全権大使）
		1936/09/08		宮崎勝太郎（臨時代理大使）
1936/12/15		1937/02/26	1940/	武富敏彦（特命全権大使）
		1940/10/25		木下武雄（臨時代理大使）
1940/09/13		1940/10/25		栗原正（特命全権大使）～1946/01/31

※外務省外交史料館所蔵文書などをもとに筆者が現在作成中のもの。不明な点が多く、後日に正確に期したものを纏める。

I : 『日刊海外商報』(1925～1928年) 所収 トルコ関係記事総索引

著者	職責	項目	表 題	掲載誌	号数	発行日	頁
笠間杲雄	一等書記官	一般	「土耳其産業一般」	『日刊海外商報』	89	1925/4/5	19-30
小林	ポートサイ ド領事代理	電報	「土耳其会社のモスール石油会社採掘権獲得」	『日刊海外商報』	120	1925/5/5	4
		商取引紹介	「土耳其帽注文希望者並見本」	『日刊海外商報』	121	1925/5/6	16
		欄外	「土耳其の産業保護政策」	『日刊海外商報』	124	1925/5/9	3-4
花岡止郎	代理大使	欄外	「オットマン銀行約款改定」	『日刊海外商報』	195	1925/7/17	4
花岡止郎	代理大使	貿易	「土耳其市場開拓の余地」	『日刊海外商報』	197	1925/7/19	29-30
花岡止郎	代理大使	商品	「煙草生産輸出状況（土耳其）」	『日刊海外商報』	202	1925/7/24	8-10
		欄外	「製業需要状況」	『日刊海外商報』	231	1925/8/23	55
花岡止郎	代理大使	商品	「羊毛状況（土耳其）」	『日刊海外商報』	245	1925/9/7	8-10
花岡止郎	代理大使	貿易	「土耳其貿易概況（1924年第1期）」	『日刊海外商報』	256	1925/9/18	9-12
		欄外	「綿縣輸入及再輸出」	『日刊海外商報』	268	1925/10/1	4
花岡止郎	代理大使	速報	「対土直接取引開始好機」	『日刊海外商報』	273	1925/10/6	3-4
		欄外	「綿縣輸入及再輸出（1923年）」	『日刊海外商報』	284	1925/10/16	2
花岡止郎	代理大使	貿易	「土耳其（1月）」	『日刊海外商報』	288	1925/10/21	11-13
		欄外	「土耳其養蚕業」	『日刊海外商報』	289	1925/10/22	4
花岡止郎	代理大使	商品	「穀類状況（土耳其）1924」	『日刊海外商報』	309	1925/11/12	7
花岡止郎	代理大使	商品	「棉花状況（土耳其）1924」	『日刊海外商報』	309	1925/11/12	9-10
花岡止郎	代理大使	商品	「砂糖状況（土耳其）1924」	『日刊海外商報』	310	1925/11/13	5-6
		欄外	「土耳其品別貿易額（1924年上半年期）」	『日刊海外商報』	311	1925/11/14	2
花岡止郎	代理大使	経済	「土耳其の石油事業」	『日刊海外商報』	340	1925/12/14	23
花岡止郎	代理大使	商品	「棉花生産状況（土耳其）」	『日刊海外商報』	344	1925/12/18	9-10
花岡止郎	代理大使	商品	「タピー状況（土耳其）」	『日刊海外商報』	354	1925/12/28	5-8
小幡酉吉	大使	電報	「土耳其関税率中改正」	『日刊海外商報』	380	1926/1/30	593

小幡西吉	大使		商取引紹介	「珍奇物小間物及骨董品並羊毛及獣皮商（土耳其アタナ市）」	『日刊海外商報』	392	1926/2/12	907
小幡西吉	大使		欄外	「土耳其外国貿易額（1925年1，2月）」	『日刊海外商報』	393	1926/2/13	910
小幡西吉	大使		商品	「棉花状況（土耳其）」	『日刊海外商報』	393	1926/2/13	913-916
小幡西吉	大使		貿易	「彼斯對外貿易」	『日刊海外商報』	393	1926/2/13	919-920
小幡西吉	大使		商取引紹介	「胡椒及綿花商（土耳其アタナ市）」	『日刊海外商報』	393	1926/2/13	923
小幡西吉	大使		欄外	「土耳其外国貿易額（1925年3，4月）」	『日刊海外商報』	395	1926/2/15	994
小幡西吉	大使		商品	「綿織品状況（土耳其）」	『日刊海外商報』	395	1926/2/15	1000-1002
小幡西吉	大使		欄外	「デキリ港検疫所設置（土耳其）」	『日刊海外商報』	396	1926/2/16	1012
			商品市況	「綿織物輸入表（土耳其）1923年」	『日刊海外商報』	401	1926/2/21	1091-1098
小幡西吉	大使		経済一般	「土国品輸出奨励の浮動博覧会」	『日刊海外商報』	406	1926/2/26	1245
小幡西吉	大使		電報	「本邦商品見本展覧会盛況（君府）」	『日刊海外商報』	411	1926/3/3	1382-1383
通商局			経済一般	「土耳其関税率中改正」	『日刊海外商報』	413	1926/3/5	1422
小幡西吉	大使		貿易	「土耳其外国貿易（5月）」	『日刊海外商報』	420	1926/3/12	1589
小幡西吉	大使		商品	「夏帽需要状況（土耳其）」	『日刊海外商報』	431	1926/3/23	1870-1871
小幡西吉	大使		電報	「諸国砂糖輸入及消費に関する制度（其1）：土耳其」	『日刊海外商報』	453	1926/4/15	61
小幡西吉	大使		電報	「土耳其輸入税引上計量」	『日刊海外商報』	455	1926/4/17	69
小幡西吉	大使		経済一般	「石油及ベンジン専売法施行（土耳其）」	『日刊海外商報』	464	1926/4/26	115
若松	商務書記官		経済一般	「土耳其の輸入通関手続」	『日刊海外商報』	466	1926/4/28	123
小幡西吉	大使		電報	「為替及物価の昂騰（土耳其）」	『日刊海外商報』	490	1926/5/22	239
小幡西吉	大使		商品市況	「棉花産出状況（土耳其）」	『日刊海外商報』	501	1926/6/2	301-302
通商局			商品市況	「日本粗布と土耳其：君府綿布市況（3月）」	『日刊海外商報』	502	1926/6/3	305
小幡西吉	大使		貿易	「土耳其外国貿易状況（6月）」	『日刊海外商報』	517	1926/6/18	375
小幡西吉	大使		貿易	「土耳其輸入概況（7月－10月）」	『日刊海外商報』	524	1926/6/25	409
通商局				「綿布市況：3月（君府）」	『日刊海外商報』	530	1926/7/1	442
通商局			商品市況	「綿絲市況（君府）」	『日刊海外商報』	532	1926/7/3	449
通商局			貿易	「土耳其輸入品別額（1925年8月）」	『日刊海外商報』	541	1926/7/12	491

通商局		貿易	「土耳其輸入品別額 (1925年9月)」	『日刊海外商報』	542	1926/7/13	495
通商局		貿易	「電気家庭用具状況 (土耳其)」	『日刊海外商報』	542	1926/7/13	497
小幡西吉	大使	紹介	「絹シャツ地輸入希望 (君府)」	『日刊海外商報』	543	1926/7/14	502
小幡西吉	大使	商品市況	「本邦製帽子の好評：意匠及装の非難 (土耳其)」	『日刊海外商報』	549	1926/7/20	529
通商局		経済一般	「土耳其棉産状況」	『日刊海外商報』	552	1926/7/23	540
通商局		商品市況	「羊毛状況 (土耳其)」	『日刊海外商報』	556	1926/7/27	563
松山	商務書記官	経済一般	「土耳其商品見本展巡航船」	『日刊海外商報』	573	1926/8/14	640
小幡西吉	大使	経済一般	「人造絹糸使用禁止法廃止 (土耳其)」	『日刊海外商報』	583	1926/8/24	688
通商局			「土耳其主要品港別輸出货量 (1925年)」	『日刊海外商報』	584	1926/8/25	692
小幡西吉	大使	経済一般	「土耳其蚕業奨励と取締法制定」	『日刊海外商報』	598	1926/9/9	760
川谷	商務書記官	経済一般	「土耳其浮動博覧会船 (露国)」	『日刊海外商報』	600	1926/9/11	769
小幡西吉	大使	紹介	「綿布並モヘーヤ取引希望 (土耳其)」	『日刊海外商報』	605	1926/9/16	794
小幡西吉	大使	紹介	「綿布並モヘーヤ希望 (土耳其)」	『日刊海外商報』	610	1926/9/21	818
小幡西吉	大使	紹介	「綿布並モヘーヤ希望 (土耳其)」	『日刊海外商報』	616	1926/9/27	854
通商局		商品市況	「絹貨輸入状況 (土耳其)」	『日刊海外商報』	627	1926/10/9	909
小幡西吉	大使	経済一般	「スミルナ最近経済状況」	『日刊海外商報』	631	1926/10/13	934
小幡西吉	大使	経済一般	「円貨価格標記不可 (土耳其)」	『日刊海外商報』	652	1926/11/5	1030
通商局		商品市況	「綿布市況：5月 (君府) 附、日本シーチング」	『日刊海外商報』	655	1926/11/8	1052
芦田均	代理大使	貿易	「本邦品土耳其輸入月別額 (1925年)」	『日刊海外商報』	656	1926/11/9	1053
小幡西吉	大使	経済一般	「円貨価格標記不可 (土耳其)」	『日刊海外商報』	657	1926/11/10	1058
通商局		商品市況	「綿布市況 (君府)：6月」	『日刊海外商報』	659	1926/11/12	1067
芦田均	代理大使	紹介	「土耳其及波斯に関する書籍及雑誌」	『日刊海外商報』	660	1926/11/13	1072
通商局		貿易	「土耳其貿易国別額 (1925年11月)」	『日刊海外商報』	662	1926/11/15	1085
通商局		商品市況	「綿布市況：8月 (土耳其)」	『日刊海外商報』	662	1926/11/15	1087
芦田均	代理大使	紹介	「ゴム製オーバーシューズ輸入希望 (君府)」	『日刊海外商報』	662	1926/11/15	1088
通商局		貿易	「土耳其国別貿易額 (1925年12月)」	『日刊海外商報』	663	1926/11/16	1089-1090
芦田均	代理大使	商品市況	「加工綿布市況 (土耳其)」	『日刊海外商報』	663	1926/11/16	1092

芦田均	代理大使	商品市況	「本邦製夏帽子輸入有望（君府）」	『日刊海外商報』	669	1926/11/22	1124
小幡西吉	大使	経済一般	「円貨価格標記不可（土耳其）」	『日刊海外商報』	671	1926/11/24	1131
芦田均	代理大使	紹介	「パナマ帽輸入商（君府）」	『日刊海外商報』	673	1926/11/27	1140
芦田均	代理大使	商品市況	「ゴム・アドラガント状況（君府）」	『日刊海外商報』	677	1926/12/1	1165
芦田均	代理大使	商品市況	「本邦製綿糸綿布とバルカン市場」	『日刊海外商報』	677	1926/12/1	1165
黒木	ポートサイ ド領事代理	商品市況	「綿糸市況：8月（君府）」	『日刊海外商報』	679	1926/12/3	1174
芦田均	代理大使	商品市況	「本邦製陶器と土耳其」	『日刊海外商報』	693	1926/12/17	1242
芦田均	代理大使	紹介	「綿糸輸出代理店引受希望（君府）」	『日刊海外商報』	694	1926/12/18	1246
小幡西吉	大使	商品市況	「綿花下落とアダナ地方の恐慌」	『日刊海外商報』	698	1926/12/22	1265-1266
小幡西吉	大使	商品	「絹物需要状況（勃牙利）」	『日刊海外商報』	720	1927/1/20	1370
小幡西吉	大使	貿易	「土耳其外国貿易（1925年）」	『日刊海外商報』	739	1927/2/10	1463-1464
小幡西吉	大使	貿易	「土耳其重要品商況（1926年）」	『日刊海外商報』	758	1927/3/2	1581-1582
小幡西吉	大使	経済	「土貨為替相場（1926年）」	『日刊海外商報』	761	1927/3/5	1593
小幡西吉	大使	貿易	「希勃通商関係」	『日刊海外商報』	766	1927/3/10	1621
小幡西吉	大使	経済	「君府自由港設置問題」	『日刊海外商報』	773	1927/3/17	1664-1665
小幡西吉	大使	商品	「粗布市況：1月（君府）」	『日刊海外商報』	780	1927/3/25	1705
小幡西吉	大使	貿易	「日土間貿易片為替 附土耳其輸出品」	『日刊海外商報』	791	1927/4/6	17-18
小幡西吉	大使	商品	「勃牙利煙草」	『日刊海外商報』	792	1927/4/7	23-24
小幡西吉	大使	貿易	「本邦品輸入額（土耳其）1926年上4箇月」	『日刊海外商報』	807	1927/4/22	101
芦田均	代理大使	電報	「伊貨急騰と輸出難本邦綿貨売込の好機」	『日刊海外商報』	816	1927/5/2	155
小幡西吉	大使	紹介	「本邦品輸入希望（君府）」	『日刊海外商報』	820	1927/5/6	174
小幡西吉	大使	経済	「ゴム・アドラガント取引注意事項」	『日刊海外商報』	824	1927/5/10	196
通商局		貿易	「土耳其港別貿易（1925年）」	『日刊海外商報』	832	1927/5/18	235
小幡西吉	大使	経済	「商社に土耳其語使用強要」	『日刊海外商報』	832	1927/5/18	237
通商局		貿易	「土耳其対米輸出増加」	『日刊海外商報』	833	1927/5/19	239
小幡西吉	大使	貿易	「君府対埃及希臘間輸出入貨物発着状況1926年」	『日刊海外商報』	839	1927/5/25	277

芦田均	代理大使	電報	「土耳其輸入品取引税法実施」	『日刊海外商報』	840	1927/5/26	281
小幡西吉	大使	商品	「金剛砂輸出入状況（土耳其）」	『日刊海外商報』	840	1927/5/26	283-284
芦田均	代理大使	経済	「土耳其関税率改正」	『日刊海外商報』	860	1927/6/15	381
芦田均	代理大使	経済	「土耳其と本邦品歓迎」	『日刊海外商報』	863	1927/6/18	392
芦田均	代理大使	紹介	「本邦品輸入希望者（君府）」	『日刊海外商報』	863	1927/6/18	394
芦田均	代理大使	貿易	「土耳其外国貿易附日土貿易関係（1926年上半期）」	『日刊海外商報』	868	1927/6/23	419-420
芦田均	代理大使	紹介	「本邦品輸入希望者（君府）」	『日刊海外商報』	869	1927/6/24	426
通商局		商品市況	「紙類需要状況（土耳其）」	『日刊海外商報』	873	1927/6/28	448
芦田均	代理大使	経済	「君府港出入外国船の運送旅客人員（1926年）」	『日刊海外商報』	877	1927/7/2	464
小幡西吉	大使	経済	「勃牙利の養蚕業」	『日刊海外商報』	881	1927/7/6	485-486
小幡西吉	大使	経済	「スミルナ経済事情」	『日刊海外商報』	899	1927/7/24	573-580
小幡西吉	大使	貿易	「土耳其対日貿易（大正4年）」	『日刊海外商報』	949	1927/9/12	829
小幡西吉	大使	電報	「輸入貨物原産地證明査證励行（土耳其）」	『日刊海外商報』	950	1927/9/13	833
小幡西吉	大使	紹介	「セルロイド櫛及タオル輸入希望（土耳其）」	『日刊海外商報』	952	1927/9/15	844
小幡西吉	大使	貿易	「土耳其对本邦貿易（1926年1月-10月）」	『日刊海外商報』	957	1927/9/20	865
小幡西吉	大使	紹介	「セルロイド櫛及タオル輸入希望（土耳其）」	『日刊海外商報』	960	1927/9/23	880
通商局		貿易	「瑞西土耳其間貿易（1926年）」	『日刊海外商報』	971	1927/10/5	929
小幡西吉	大使	商品	「化粧品需要状況（土耳其）」	『日刊海外商報』	973	1927/10/7	939
小幡西吉	大使	商品	「模造真珠需要状況（土耳其）」	『日刊海外商報』	973	1927/10/7	940
小幡西吉	大使	商品	「貝鈕釦需要状況（土耳其）」	『日刊海外商報』	974	1927/10/8	944
小幡西吉	大使	商品	「刷子及刷毛需要状況（土耳其）」	『日刊海外商報』	974	1927/10/8	944
小幡西吉	大使	経済	「仏国人の土耳其油田調査」	『日刊海外商報』	977	1927/10/11	967
小幡西吉	大使	貿易	「シリア外国貿易（1926年）」	『日刊海外商報』	980	1927/10/14	977
小幡西吉	大使	商品	「石炭産出状況（土耳其）」	『日刊海外商報』	990	1927/10/25	1036
小幡西吉	大使	商品	「絨毯製産状況（土耳其）」	『日刊海外商報』	994	1927/10/29	1052
通商局		経済一般	「土耳其向商品見本発送方注意」	『日刊海外商報』	996	1927/10/31	1068
小幡西吉	大使	経済	「土耳其工業振興の議」	『日刊海外商報』	1039	1927/12/15	1304

小幡西吉	大使	紹介	「時計取扱商 (君府)」	『日刊海外商報』	1041	1927/12/17	1314
小幡西吉	大使	経済	「土耳其輸入品原産地證明励行」	『日刊海外商報』	1044	1927/12/20	1334
小幡西吉	大使	商品	「規尼涅売込有望 (土耳其)」	『日刊海外商報』	1052	1928/1/4	1368
小幡西吉	大使	商品	「土耳其産品輸出邦商」	『日刊海外商報』	1052	1928/1/4	1368
小幡西吉	大使	紹介	「魚具取扱商 (土耳其)」	『日刊海外商報』	1053	1928/1/6	1372
小幡西吉	大使	紹介	「百貨店 (君府)」	『日刊海外商報』	1054	1928/1/7	1376
小幡西吉	大使	電報	「土耳其輸入貨物原産地証明の査証料の土貨換算率決定」	『日刊海外商報』	1068	1928/1/21	1447
		貿易	「土耳其輸入貿易並日本綿布輸入状況」	『日刊海外商報』	1073	1928/1/26	1477
小幡西吉	大使	商品	「絹及綿製品輸入状況：シリア地方 (1927年1月 - 9月)」	『日刊海外商報』	1077	1928/1/30	1504
小幡西吉	大使	経済	「ボスフオール海峡黒海出口の航路標識設備改善」	『日刊海外商報』	1084	1928/2/6	1538
		経済一般	「第三国物産輸入手続」	『日刊海外商報』	1094	1928/2/16	1586-1587
小幡西吉	大使	貿易	「勃牙利外国貿易 (1926年)」	『日刊海外商報』	1098	1928/2/21	1611-1612
小幡西吉	大使	経済	「近東地方と米国最近の活動」	『日刊海外商報』	1098	1928/2/21	1612-1613
小幡西吉	大使	経済	「対勃商権拡張の将来如何」	『日刊海外商報』	1099	1928/2/22	1616-1617
小幡西吉	大使	経済	「日土貿易関係と支拂条件」	『日刊海外商報』	1100	1928/2/23	1620-1621
小幡西吉	大使	紹介	「勃牙利の商業會議所及銀行」	『日刊海外商報』	1102	1928/2/25	1630
小幡西吉	大使	貿易	「勃牙利外国貿易 (1927年)」	『日刊海外商報』	1107	1928/3/1	1659
小幡西吉	大使	商品	「土耳其のオリエンタル・カーペット」	『日刊海外商報』	1109	1928/3/3	1669-1670
小幡西吉	大使	経済	「土耳其中央銀行設立とオットマン銀行の地位」	『日刊海外商報』	1119	1928/3/13	1717
小幡西吉	大使	貿易	「スミルナ經由土耳其輸入貿易 (1926年)」	『日刊海外商報』	1120	1928/3/14	1719-1720
小幡西吉	大使	紹介	「絨毯輸出商 (君府)」	『日刊海外商報』	1128	1928/3/23	1764

Ⅱ：『週刊海外経済事情』（1928～1934年）トルコ関係記事総索引

著者	職責	項目	表題	掲載誌	巻数	号数	発行日	頁
小幡西吉	特命全権大使	経済	「土耳其に於ける甜菜糖業」	『週刊海外経済事情』	1	1	1928/4/2	36-37
小幡西吉	特命全権大使	電報	「土耳其綿布商破綻頻出」	『週刊海外経済事情』	1	4	1928/4/23	3-4
小幡西吉	特命全権大使	経済	「勃牙利に於ける外資活躍状況」	『週刊海外経済事情』	1	4	1928/4/23	37-40
小幡西吉	特命全権大使	貿易	「土耳其外國貿易（1916年）附日土通商関係の發展」	『週刊海外経済事情』	1	5	1928/4/30	40-45
小幡西吉	特命全権大使	電報	「土耳其宛小包郵便物と原産地證明」	『週刊海外経済事情』	1	6	1928/5/7	3
小幡西吉	特命全権大使	貿易	「小包郵便に依る土耳其輸入状況」	『週刊海外経済事情』	1	7	1928/5/14	34-35
小幡西吉	特命全権大使	商品	「小麦粉需要立輸入状況（土耳其）」	『週刊海外経済事情』	1	7	1928/5/14	35
小幡西吉	特命全権大使	商品	「粗布取引状況（同）」	『週刊海外経済事情』	1	10	1938/5/28	31-33
小幡西吉	特命全権大使	電報	「土耳其原産地證明査證料換算率」	『週刊海外経済事情』	1	11	1928/6/4	3
通商局		経済	「本邦重要輸出品と土耳其輸入關稅」	『週刊海外経済事情』	1	15	1928/7/2	41
小幡西吉	特命全権大使	経済	「最近土耳其經濟事情」	『週刊海外経済事情』	1	19	1928/7/23	45-47
小幡西吉	特命全権大使	経済	「土耳其政府新紙幣發行」	『週刊海外経済事情』	1	19	1928/7/23	47
小幡西吉	特命全権大使	経済	「ローザンヌ通商條約期間満了土耳其關稅引上問題」	『週刊海外経済事情』	1	19	1928/7/23	48
芦田均	臨時代理大使	経済	「勃牙利銀行事情」	『週刊海外経済事情』	1	21	1928/8/6	27-29
通商局		経済	「スミルナ港汽船出入状況（1927年）」	『週刊海外経済事情』	1	23	1928/8/20	59
小幡西吉	特命全権大使	経済	「黒海沿岸に於ける土耳其諸港」	『週刊海外経済事情』	1	27	1928/9/17	43-47
小幡西吉	特命全権大使	経済	「君府市徴収入市稅改正」	『週刊海外経済事情』	1	29	1928/9/24	49
小幡西吉	特命全権大使	経済	「勃牙利國關稅の引上」	『週刊海外経済事情』	1	32	1928/10/15	28
小幡西吉	特命全権大使	商品	「土耳其煙草の特質」	『週刊海外経済事情』	1	33	1928/10/22	20-22
小幡西吉	特命全権大使	経済	「土耳其向見本發送方其他に關する注意」	『週刊海外経済事情』	1	36	1928/11/12	36-38
本重志	商務書記官	経済	「スルミナ港第二回見本市状況」	『週刊海外経済事情』	1	36	1928/11/12	38-40
小幡西吉	特命全権大使	経済	「シリア外國貿易統計」	『週刊海外経済事情』	1	37	1928/11/19	9-12

芦田均	臨時代理大使	経済	「君府港に於ける諸掛其他」	「週刊海外経済事情」	1	42	1928/12/17	43-44
芦田均	臨時代理大使	電報	「コンスタンチノープル経済情報」	「週刊海外経済事情」	1	44	1929/1/7	2
本重志	商務書記官	経済	「サロニカ第三回國際見本市状況」	「週刊海外経済事情」	1	44	1929/1/7	43-46
芦田均	臨時代理大使	経済	「土耳其國定税率改正附志土通商條約と本邦製綿粗布」	「週刊海外経済事情」	1	48	1929/2/4	43-44
本重志	商務書記官	経済	「希臘サロニカ港自由地帯通過貨物」	「週刊海外経済事情」	1	48	1929/2/4	44-47
芦田均	臨時代理大使	商品	「ヴァロネ及ヴァアレックス産出、輸出状況（トルコ）」	「週刊海外経済事情」	1	51	1929/2/18	28-30
芦田均	臨時代理大使	経済	「トルコ輸入無税通關の商品見本」	「週刊海外経済事情」	1	51	1929/2/18	55
本重志	商務書記官	貿易	「コンスタンチノープル港通過貿易現況」	「週刊海外経済事情」	2	3	1929/4/15	44-46
本重志	商務書記官	商品	「トルコ羊毛事情」	「週刊海外経済事情」	2	4	1929/4/22	34-38
芦田均	臨時代理大使	経済	「ブルガリア工業保護法概要」	「週刊海外経済事情」	2	4	1929/4/22	41
芦田均	臨時代理大使	電報	「トルコ國新關稅定率法議會通過」	「週刊海外経済事情」	2	12	1929/6/10	4
本重志	商務書記官	経済	「トルコ新文字と商標其他」	「週刊海外経済事情」	2	12	1929/6/10	62
本重志	商務書記官	経済	「コンスタンチノープル港荷物集散状況」	「週刊海外経済事情」	2	12	1929/6/10	62
芦田均	臨時代理大使	電報	「本邦重要輸出品トルコ輸入税率」	「週刊海外経済事情」	2	14	1929/6/24	2
通商局		商品	「綿製品取引状況（トルコ）」	「週刊海外経済事情」	2	15	1929/7/1	20-26
芦田均	臨時代理大使	電報	「土耳其改正關稅法適用期日發表」	「週刊海外経済事情」	2	16	1929/7/8	4
芦田均	臨時代理大使	経済	「トルコ産業の大勢」	「週刊海外経済事情」	2	21	1929/8/12	27-29
通商局		経済	「最近ブルガリア國經濟事情（其一）」	「週刊海外経済事情」	2	22	1929/8/19	21-24
通商局		経済	「最近ブルガリア國經濟事情（其二）」	「週刊海外経済事情」	2	23	1929/8/26	33-37
本重志	商務書記官	経済	「トルコ新關稅定率法施行法」	「週刊海外経済事情」	2	24	1929/9/2	24-25
芦田均	臨時代理大使	経済	「トルコ再保險會社設立」	「週刊海外経済事情」	2	25	1929/9/9	44-45
本重志	商務書記官	経済	「トルコ新關稅率」	「週刊海外経済事情」	2	26	1929/9/16	12-18
本重志	商務書記官	経済	「第九回リユブリアナ國際見本市概況」	「週刊海外経済事情」	2	27	1929/9/24	33-35
芦田均	臨時代理大使	経済	「日本及トルコ合辦絹物会社創設」	「週刊海外経済事情」	2	28	1929/9/30	61-62
芦田均	臨時代理大使	電報	「トルコ經濟状況」	「週刊海外経済事情」	2	33	1929/11/4	2

芦田均	臨時代理大使	商品	「米作及米輸入概況（トルコ）」	『週刊海外経済事情』	2	35	1929/11/18	12-14
本重志	商務書記官	貿易	「本邦對近東方面貿易研究必要」	『週刊海外経済事情』	3	2	1930/1/13	36-37
本重志	商務書記官	貿易	「ギリシヤとの取引方法及注意事項」	『週刊海外経済事情』	3	2	1930/1/13	37-41
本重志	商務書記官	紹介	「本邦品取扱商及取引希望者（トルコ）」	『週刊海外経済事情』	3	2	1930/1/13	73
芦田均	臨時代理大使	経済	「コンスタンチノーブル改稱に付其記載に關する注意」	『週刊海外経済事情』	3	4	1930/1/27	62
本重志	商務書記官	貿易	「ユーゴスラヴ對日貿易事情附ベルグラードに於ける各國綿絲布狀況」	『週刊海外経済事情』	3	9	1930/3/3	11-13
二瓶兵二	臨時代理大使	経済	「トルコ政府の國産品使用奨励」	『週刊海外経済事情』	3	9	1930/3/3	20-21
本重志	商務書記官	経済	「ユーゴスラヴ國貨幣制度と金融機關」	『週刊海外経済事情』	3	10	1930/3/10	21-24
本重志	商務書記官	貿易	「ブルガリ國外國貿易及ブルガリ市場に於ける綿製品狀況」	『週刊海外経済事情』	3	13	1930/3/31	30-35
本重志	商務書記官	財經	「ブルガリ國金融機關及貨幣制度」	『週刊海外経済事情』	3	14	1930/4/7	50-52
本重志	商務書記官	貿易	「トルコの外國貿易狀況（1928年）」	『週刊海外経済事情』	3	16	1930/4/21	8-15
二瓶兵二	臨時代理大使	財經	「トルコ政府の土貨相場維持策」	『週刊海外経済事情』	3	17	1930/4/28	69-70
大使館		紹介	「時計及眼鏡取扱商（トルコ）」	『週刊海外経済事情』	3	18	1930/5/5	78
本重志	商務書記官	財經	「トルコ貨幣下落事情並政府の對策」	『週刊海外経済事情』	3	20	1930/5/19	15-20
本重志	商務書記官	関税	「トルコに於ける原產地證明規則並再輸出貨物輸入税免除」	『週刊海外経済事情』	3	22	1930/6/2	19-20
本重志	商務書記官	貿易	「トルコ貿易額（1929年度）」	『週刊海外経済事情』	3	26	1930/6/30	70-71
本重志	商務書記官	交通	「トルコ國立汽船會社のエジプト定航開始」	『週刊海外経済事情』	3	28	1930/7/14	73-74
本重志	商務書記官	財經	「トルコ貨幣保護法令一部改正」	『週刊海外経済事情』	3	28	1930/7/14	74
本重志	商務書記官	財經	「トルコ砂糖及石油並石油専売法廢止」	『週刊海外経済事情』	3	28	1930/7/14	74-75
本重志	商務書記官	貿易	「日本封トルコ貿易額（1929年度）」	『週刊海外経済事情』	3	29	1930/7/21	75-76
本重志	商務書記官	商品	「電氣器具需要狀況（ブルガリア國）」	『週刊海外経済事情』	3	29	1930/7/21	77-78
本重志	商務書記官	工業	「綿糸布紡織概況（トルコ）」	『週刊海外経済事情』	3	32	1930/8/11	21-22

通商局		交通	「トルコの鐵道状況」	『週刊海外経済事情』	3	32	1930/8/11	27-30
本重志	商務書記官	財經	「トルコ中央銀行法案」	『週刊海外経済事情』	3	32	1930/8/11	35-37
本重志	商務書記官	商品	「米國會社のトルコに於けるマッチ專賣權獲得」	『週刊海外経済事情』	3	34	1930/8/25	32-33
本重志	商務書記官	貿易	「日本對トルコ貿易（上半期）」	『週刊海外経済事情』	3	42	1930/10/20	74
本重志	商務書記官	商品	「米國會社、トルコ政府間マッチ專賣契約に就て」	『週刊海外経済事情』	3	43	1930/10/27	70
本重志	商務書記官	紹介	「邦品取扱希望者（トルコ、ブルガリア、ユーゴスラヴ及ギリシア國）」	『週刊海外経済事情』	3	45	1930/11/10	86-87
本重志	商務書記官	商品	「蓄電池需給状況（ブルガリア）」	『週刊海外経済事情』	3	48	1930/12/1	73
二瓶兵二	臨時代理大使	財經	「トルコ貨安定財政法案議會通過」	『週刊海外経済事情』	3	49	1930/12/8	74
二瓶兵二	臨時代理大使	農業	「棉花栽培状況（ブルガリア）」	『週刊海外経済事情』	4	1	1931/1/6	57-58
本重志	商務書記官	財經	「ブルガリア國外國貨幣及外國為替の取引制限規定」	『週刊海外経済事情』	4	6	1931/2/9	47-48
本重志	商務書記官	紹介	「本邦品輸入希望者並外國為替取扱銀行（ブルガリア）」	『週刊海外経済事情』	4	9	1931/3/2	77-79
本重志	商務書記官	商品	「綿糸布需給状況（ブルガリア國）」	『週刊海外経済事情』	4	14	1931/4/6	35-41
本重志	商務書記官	関税	「トルコ及チェコスロヴァキア間協定關稅率と本邦品」	『週刊海外経済事情』	4	16	1931/4/20	79-80
本重志	商務書記官	財經	「ブルガリア國經濟界一般状況（1930年度）」	『週刊海外経済事情』	4	18	1931/5/4	40-43
本重志	商務書記官	貿易	「ブルガリア國貿易並同國輸出向本邦品の種類」	『週刊海外経済事情』	4	20	1931/5/18	1-8
本重志	商務書記官	貿易	「イラーク國外國貿易概況（自1929年3月21日至1930年2月21日）」	『週刊海外経済事情』	4	20	1931/5/18	26-27
本重志	商務書記官	財經	「トルコに於けるソヴィエト綿布ダンピング説」	『週刊海外経済事情』	4	21	1931/5/25	31-32
本重志	商務書記官	商品	「薔薇油の産出及輸出状況（ブルガリア國）」	『週刊海外経済事情』	4	22	1931/6/1	51-53
吉田伊三郎	全權大使	財經	「トルコに於けるソヴィエト聯邦のダンピング問題」	『週刊海外経済事情』	4	23	1931/6/8	67-68
本重志	商務書記官	関税	「トルコ、ギリシア間協定關稅率と本邦品」	『週刊海外経済事情』	4	24	1931/6/15	69-70
吉田伊三郎	全權大使	関税	「トルコ國の金銀製品其他輸出禁止令廢止」	『週刊海外経済事情』	4	25	1931/6/22	73
本重志	商務書記官	貿易	「トルコ對日貿易（1930年度下半期）」	『週刊海外経済事情』	4	26	1931/6/29	65-66

本重志	商務書記官	商品	「普通電球需要状況（ブルガリア國）」	『週刊海外経済事情』	4	26	1931/6/29	66-67
本重志	商務書記官	関税	「ブルガリア國輸入手續上の注意事項」	『週刊海外経済事情』	4	27	1931/7/6	73
本重志	商務書記官	商品	「トルコ向輸出綿布クレイムに關する注意」	『週刊海外経済事情』	4	28	1931/7/13	18-19
本重志	商務書記官	外法	「ブルガリア國輸出協會及輸出品ナショナル・マークに關する法令」	『週刊海外経済事情』	4	28	1931/7/13	59-61
本重志	商務書記官	貿易	「日希貿易現状及注意事項」	『週刊海外経済事情』	4	39	1931/9/28	20-22
本重志	商務書記官	貿易	「ギリシア國其他バルカン諸國へ日本加工綿布賣込に必要條件」	『週刊海外経済事情』	4	40	1930/10/5	5-7
吉田伊三郎	特命全權大使	外法	「トルコ國改正諸税法梗概」	『週刊海外経済事情』	4	45	1930/11/9	48-52
吉田伊三郎	特命全權大使	財經	「トルコ輸入制限令公布及同令に依る輸入決定額」	『週刊海外経済事情』	4	47	1931/11/24	7
本重志	商務書記官	紹介	「バロネ及バレックス輸出商（トルコ）」	『週刊海外経済事情』	4	49	1931/12/7	72-73
本重志	商務書記官	商品	「絹織物需要状況（トルコ）」	『週刊海外経済事情』	4	50	1931/12/14	53-54
吉田伊三郎	特命全權大使	財經	「トルコの輸入制限令に依る輸入決定額（1932年1月－3月）」	『週刊海外経済事情』	4	51	1931/12/21	4
通商局		貿易	「トルコ對ソヴィエト聯邦貿易統計（自1926年至1928年）」	『週刊海外経済事情』	4	51	1931/12/21	57-59
本重志	商務書記官	紹介	「トルコ産綿花、甘草根及同エキストラクト輸出商（トルコ）」	『週刊海外経済事情』	4	51	1931/12/21	66-67
本重志	商務書記官	商品	「トルコ政府専売局使用の煙草用紙」	『週刊海外経済事情』	5	1	1932/1/11	63
本重志	商務書記官	紹介	「本邦品取扱希望者（トルコ國、シリア國、ロード島、ギリシア國、ブルガリア國、ルーマニア國、ユーゴスラヴ國）」	『週刊海外経済事情』	5	1	1932/1/11	81
大使館		貿易	「トルコ輸出入額月別統計（1929－31年）」	『週刊海外経済事情』	5	4	1932/2/1	69-70
大使館		貿易	「トルコ輸出入額國別統計（1929－30年）」	『週刊海外経済事情』	5	4	1932/2/1	70-71
吉田伊三郎	特命全權大使	関税	「トルコ輸入制限施行條例と輸入決定量」	『週刊海外経済事情』	5	5	1932/2/8	4-7
村上義温	臨時代理大使	関税	「トルコ第三回輸入制限令公布」	『週刊海外経済事情』	5	8	1932/2/29	12
村上義温	臨時代理大使	財經	「トルコ中央銀行開業」	『週刊海外経済事情』	5	9	1932/3/7	40
村上義温	臨時代理大使	貿易	「トルコ外國貿易概況（1931年）」	『週刊海外経済事情』	5	12	1932/3/28	29-30

村上義温	臨時代理大使	財経	「スタンブール取引所に邦貨上場」	『週刊海外経済事情』	5	15	1932/4/18	56
村上義温	臨時代理大使	外法	「トルコ為替管理法実施」	『週刊海外経済事情』	5	18	1932/5/9	3
村上義温	臨時代理大使	外法	「トルコ貨安定令一部改正」	『週刊海外経済事情』	5	18	1932/5/9	56-57
村上義温	臨時代理大使	外法	「トルコ貨安定に關する大統領令要旨」	『週刊海外経済事情』	5	18	1932/5/9	57
村上義温	臨時代理大使	外法	「トルコ輸入制限実施前註文品の通関許可」	『週刊海外経済事情』	5	20	1932/5/23	58
村上義温	臨時代理大使	関税	「トルコ第四回輸入制限令公布」	『週刊海外経済事情』	5	21	1932/5/30	3
村上義温	臨時代理大使	外法	「トルコ為替管理法実施」	『週刊海外経済事情』	5	24	1932/6/20	46
村上義温	臨時代理大使	外法	「トルコ國輸入制限令變更」	『週刊海外経済事情』	5	27	1932/7/11	28-29
村上義温	臨時代理大使	外法	「トルコ國第五回為替統制令に對する國民經濟大臣の公的解釋」	『週刊海外経済事情』	5	27	1932/7/11	61
村上義温	臨時代理大使	外法	「トルコ國輸入制限令變更」	『週刊海外経済事情』	5	28	1932/7/18	14-15
村上義温	臨時代理大使	紹介	「輸出入取引希望者（近東諸國）」	『週刊海外経済事情』	5	28	1932/7/18	83-84
村上義温	臨時代理大使	外法	「トルコ為替管理法適用に關する解釋」	『週刊海外経済事情』	5	29	1932/7/25	56
本重志	商務書記官	商品	「モヘア原毛取引及輸出状況（トルコ）」	『週刊海外経済事情』	5	30	1932/8/1	38-39
本重志	商務書記官	外法	「ブルガリア國外國為替統制法令の輸入の輸入品代金決済規定」	『週刊海外経済事情』	5	30	1932/8/1	49
村上義温	臨時代理大使	外法	「トルコ國在留外國人の職業及勞役制限」	『週刊海外経済事情』	5	31	1932/8/8	49-51
村上義温	臨時代理大使	外法	「トルコ為替管理法適用に關する解釋追加」	『週刊海外経済事情』	5	31	1932/8/8	62
村上義温	臨時代理大使	貿易	「トルコ國輸入制限令の影響」	『週刊海外経済事情』	5	32	1932/8/8	23-26
本重志	商務書記官	外法	「トルコ第五回輸入制限令発令（1932年10-12月）」	『週刊海外経済事情』	5	34	1932/8/29	4-5
村上義温	臨時代理大使	外法	「トルコ國の茶、砂糖及珈琲輸入統一法」	『週刊海外経済事情』	5	38	1932/9/26	54
本重志	商務書記官	商品	「ブルガリア國向麥稈眞田類輸出の注意並同國輸入希望者」	『週刊海外経済事情』	5	38	1932/9/26	55
本重志	商務書記官	外法	「トルコ國輸入制限令及輸入許可量」	『週刊海外経済事情』	5	40	1932/10/10	1-2
本重志	商務書記官	機関	「ブルガリア國ソヒア市に於ける日本陶磁器、雜貨個人展覧會状況」	『週刊海外経済事情』	5	42	1932/10/24	62

本重志	商務書記官	外法	「トルコ國輸入制限令及輸入許可量（1933年1－3月）と本邦關係品」	「週刊海外經濟事情」	5	48	1932/12/5	4-5
本重志	商務書記官	外法	「トルコ國輸入制限令（1932年第4期）規定第三項に關する指令發表」	「週刊海外經濟事情」	5	50	1932/12/19	53-54
本重志	商務書記官	財經	「輸入制限令実施のトルコ國貿易及經濟に及せる影響」	「週刊海外經濟事情」	6	1	1933/1/9	50-53
本重志	商務書記官	外法	「トルコ國貨幣保護令」	「週刊海外經濟事情」	6	6	1933/2/13	52
本重志	商務書記官	外法	「對日トルコ特產物輸出者に制限外輸入許可規定」	「週刊海外經濟事情」	6	7	1933/2/20	27-28
本重志	商務書記官	関税	「トルコ關稅改正」	「週刊海外經濟事情」	6	10	1933/3/13	2-3
本重志	商務書記官	外法	「トルコ國貨幣保護法令發表」	「週刊海外經濟事情」	6	11	1933/3/20	54
吉田伊三郎	特命全權大使	貿易	「トルコ外國貿易狀況（1932年）」	「週刊海外經濟事情」	6	22	1933/6/5	18-22
本重志	商務書記官	外法	「トルコ輸入制限令中改訂」	「週刊海外經濟事情」	6	22	1933/6/5	58
本重志	商務書記官	外法	「外國為替取引に關する中央銀行條例（ブルガリア）」	「週刊海外經濟事情」	6	22	1933/6/5	58-59
村上義温	臨時代理大使	外法	「土耳其輸入制限令及輸入許可量（1933年7－9月）」	「週刊海外經濟事情」	6	23	1933/6/12	4-5
本重志	商務書記官	貿易	「土耳其國別輸出入類（1月乃至3月）」	「週刊海外經濟事情」	6	27	1933/7/10	68
村上義温	臨時代理大使	外法	「土耳其輸入制限令及本邦割當額」	「週刊海外經濟事情」	6	35	1933/9/4	12
村上義温	臨時代理大使	外法	「土國新貨幣鑄造」	「週刊海外經濟事情」	6	35	1933/9/4	67
本重志	商務書記官	農業	「土耳其棉花產出及輸出狀況」	「週刊海外經濟事情」	6	37	1933/9/18	46-49
村上義温	臨時代理大使	貿易	「土國外國貿易狀況（1933年1月－5月）」	「週刊海外經濟事情」	6	38	1933/9/25	18-20
本重志	商務書記官	貿易	「日土貿易近況（1933年1月－5月）」	「週刊海外經濟事情」	6	38	1933/9/25	48-50
本重志	商務書記官	外法	「土國輸入制限令輸入許可品目」	「週刊海外經濟事情」	6	41	1933/10/16	61-62
村上義温	臨時代理大使	外法	「土國工業獎勵法中改正」	「週刊海外經濟事情」	6	41	1933/10/16	68
本重志	商務書記官	商品	「對日土耳其棉花輸出契約」	「週刊海外經濟事情」	6	41	1933/10/16	68
本重志	商務書記官	外法	「土耳其向輸出品原產地證明書必要」	「週刊海外經濟事情」	6	45	1933/11/13	60
本重志	商務書記官	貿易	「日土貿易額（1月－7月）」	「週刊海外經濟事情」	6	45	1933/11/13	60
村上義温	臨時代理大使	貿易	「勃牙利對外貿易（1932年）」	「週刊海外經濟事情」	6	46	1933/11/20	10-11

武者小路公共	特命全権大使	貿易	「勃牙利對外貿易概況（1933年上半年期）」	『週刊海外経済事情』	7	1	1934/1/8	45-46
本重志	商務書記官	外法	「土國輸入制限令中輸入割当品目」	『週刊海外経済事情』	7	23	1934/6/11	2
本重志	商務書記官	貿易	「土耳其外國貿易統計（1933年上10箇月）」	『週刊海外経済事情』	7	27	1934/7/9	47
本重志	商務書記官	外法	「土國輸入制限令中國別割当量（1934年7月 - 9月）」	『週刊海外経済事情』	7	27	1934/7/9	47-48
本重志	商務書記官	商品	「茶輸入状況（土耳其）（1933年上10十箇月）」	『週刊海外経済事情』	7	27	1934/7/9	48
本重志	商務書記官	財經	「土耳其國經濟状況（1933年度）」	『週刊海外経済事情』	7	32	1934/8/6	29-34
本重志	商務書記官	工業	「土耳其國の新紡績工場建設開始」	『週刊海外経済事情』	7	32	1934/8/6	34
本重志	商務書記官	商品	「土耳其國蠶業状況」	『週刊海外経済事情』	7	45	1934/10/29	45-46
武者小路公共	特命全権大使		「土耳其國棉花栽培改善方」	『週刊海外経済事情』	7	45	1934/10/29	46-47
本重志	商務書記官	商品	「土耳其國棉花收穫豫想及産額（1934年度）」	『週刊海外経済事情』	7	45	1934/10/29	47-48

Ⅲ：『海外経済事情』（1935～1943年）所収 トルコ関係記事総索引

著者	職責	項目	表 題	掲載誌	巻数	号数	発行日	頁
		貿易	「土耳其貿易状況（1931 - 33年）」	『海外経済事情』	8	2	1935/1/25	77-78
山下芳郎	アレキサン・ドリ ア総領事代理	農業	「土耳其國煙草栽培面積」	『海外経済事情』	8	2	1935/1/25	78
本重志	商務書記官	鉱業	「土耳其石炭産出状況」	『海外経済事情』	8	6	1935/3/25	93
本重志	商務書記官	農業	「土國イスマイル地方棉花産出状況」	『海外経済事情』	8	6	1935/3/25	93-94
本重志	商務書記官	水産	「土國洋製鹽状況」	『海外経済事情』	8	6	1935/3/25	94
本重志	商務書記官	工業	「土國洋灰産出状況」	『海外経済事情』	8	6	1935/3/25	94
本重志	商務書記官	商品	「毛織物状況（土耳其）」	『海外経済事情』	8	7	1935/4/10	83-84
本重志	商務書記官	貿易	「勃牙利外國貿易状況（1932年）」	『海外経済事情』	8	7	1935/4/10	95-96
		工業	「土耳其綿毛紡織工業現況」	『海外経済事情』	9	6	1936/3/25	99-102
徳川家正・ 宮崎勝太郎	特命全權大使・ 臨時代理大使		「土耳其中小工業及其製品販賣輸出奨励助成方法」	『海外経済事情』	10	11	1937/6/10	71-72
武富敏彦	特命全權大使	経済	「土耳其經濟近況」	『海外経済事情』	11	8	1938/4/25	119-120
武富敏彦	特命全權大使	関税	「トルコ國原料品輸入關稅一部改正」	『海外経済事情』	11	24	1938/12/25	79-81
武富敏彦	特命全權大使	関税	「土國機械類輸入關稅一部改正」	『海外経済事情』	11	24	1938/12/25	81-84
武富敏彦	特命全權大使	鉱業	「土耳其國鹽業概況」	『海外経済事情』	13	4	1940/2/25	150-151
武富敏彦	特命全權大使		「土耳其貿易状況（1940年第一四半期）」	『海外経済事情』	13	17	1940/9/10	51-55

明治三十六年四月二日第三種郵便物認可大正十四年四月五日發行
毎日大衆視日を除く發行毎號十六頁日曜號約五十頁

日刊 海外商報 (第八九號) 外務省通商局編纂

發行(曜日)日五月四年四十正大

目次

貿易	
□ 祕魯外國貿易狀況 (一九二四年上半期)	三
經濟一般	
□ 土耳其產業狀況	一九
□ 英領哥州農業產物狀況 (一九三三年度)	三一
□ 加奈陀鮭漁業概況 附アラスカ鮭漁業狀況	三九
□ 極東州領域輸入禁止品目表	五九
欄外	
□ 世界小麥及ライ麥生產高	一一
□ 比島外國貿易概況	五六

- 一、本誌掲載の諸資料に關する一切の照會質疑は勿論一般通商貿易上の調査に關する希望並本誌編輯方法に關する質問の點を總て當局内閣事務部宛宛中出られ度し
- 二、對外取引獎勵上の參考並現に當局より在外公館を通じて在外本邦商に供給する情報の改善に資する爲本邦産業貿易上の情報及諸資料を當局内閣事務部宛宛送付を乞ふ

經濟一般

土耳其產業狀況

(大正十三年十一月二十日附在土密開大使館一筆電報譯稿)

小亞細亞地方は一般に土地豐饒天產物に富むも人為の施設之に伴はず農業に於ても耕作方法等は全く幼稚にして勞働の不熟練農具の幼稚硝酸肥料の輸入が自由なるに不拘全く行はれ居らず現今の施肥方法の不完全等其不振の原因なり

世界大戰の數年前政府は農業改善策を試みたるが政治上の理由により頓挫したり今日の急務は此改善策を復舊し組織的に實行して良好なる結果を得るに努力するにあり

其案にべれば第一に農民の精神を改造し彼等に祖先傳來の方法よりも一層有效なる耕作方法あり之に依れば租税其他の諸經費を除き尙多大の純益あることを教へ漸次合理的集約耕作法に導き且模範農場を普及せしむるに在り

戦前一部分實行せられたる交通機關特に道路工事又北部アナトリアに於ける鐵道敷設計畫等の中止中のものは速に復舊改善せらるべきものにして現政府が農業中心地に對し進歩せる農具を配付せる等の努力は多きすべくも其使用方法に就て農夫を充分に指導せざれば效果は擧らざるべし改善を要するもの内最緊急なるものゝ一は十分の一税の徵收法なり一般に競賣方法に依て徵收せられたる爲種々の不便を伴ひ納税者たる百姓を收穫更に蹂躪せしめたり仍て政府は此税を絶對に全廢せん